

私は、総合の時間で記者の人の話を聞いて  
見ると、これが一つあります。まあ、始めに  
新聞の特色がいろいろあります。私は、配り水  
た新聞の紙を見ながら記者の人の話を聞きます  
した。新聞には一覽せいななど見やすさを  
工した工夫がたくさんあると分かりました。  
私は、確かに新聞を読かるとき、話やすく、見  
やすく、なごいと思つたことがあつたので新聞には  
色白な工夫がなされていて相手に見やすく読み  
やすくできていゝることが分かつて記者の人が  
そのお話を聞いてよかうたゞす。ウラライナ  
戦争のころにも群々新聞から読みました。  
これからは新聞を読むとよかうたゞす。読んで  
みようと決心しました。

新聞記者さんが来て思ったこと。今、ウケ  
ライナとロシアの戦争が問題になっていて、こ  
とは皆さんほとんどが知っていて、思いま  
今の時点で約三千人以上が被害にあっている  
そうです。改めて考えてみると、疑念に  
思います。例え戦争で勝つことができたし  
ても多くの被害を背負って得るものは少しの  
ものだけです。戦争をしたくない人達  
だけですね。戦争をしたいと思います人達  
さんが来てくれて思ったことは、これからは  
ニコラスだけでなく新聞も活用したいと思  
ました。心だんはスマホとかで確認できるの  
です。スマホで確認してしまふことが多いの  
ですが、新聞だと見出しなどで分かりやすくで  
きるの活用していきなうと思います。  
これからは新聞とニコラスをちうど良  
割合で調整して有こう活用していきなうと思  
います。

ぼくは、ロシアとウクライナの戦争がやはり  
いというところか分かりました。  
、まずなぜかというところ、この戦争は日本にも  
影響する戦争だからです。なぜなら、ウクラ  
イナには小麦やガソリンの石油などが取れる  
ので小麦や石油が関係されている食品が値上  
げされていて日本の生活にも影響をもたらし  
ました。そして、今ウクライナは学校や家や  
病院など、さまざまなものはいされ、死  
者も多発しており、ある町には死体が放置さ  
れているところも多くなります。それで、新  
聞にもだいたいはウクライナとロシアの戦争  
のことが分かりました。

最後に、新聞はキャッチコピーで大体は分  
り、情報料が多くて、分かりやすいところか授  
業で分かりました。

私は、神戸新聞の方の話を聞いてウクライナ戦争について考えました。

ほぼ毎日のように、ニュースに出でくる

「ウクライナ戦争」。約三ヶ月も戦争が続く

なんて、毎日こんな思いで過しているのか

なと思いましたが。ウクライナ戦争がより早く

に終われるために何かできるか考えたら、分

からないけど、毎日不安に思いながら過ご

しているウクライナの人に、少しでも元気にな

ってもらいたなと思いつつ、そのためには募金を

して、レチャウぶんなご飯を食ってもらいたい

なと思いましたが。お風呂に入ることもできず、

会いたくても、会えない人がいるだけでもし

んといのに、毎日のように銃声が聞こえて、

早く平和に戻ってほしいなと思います。

私は授業を通してロシアとウクライナの戦

争は良くないと思いました。

戦争が始まってロシアがウクライナにたいし

て一方的に攻撃を仕掛けていました。

そしてウクライナの人々は二万人ほひて

くは、いろいろな事です。

被害者の中には生後8カ月の赤ぼりや妊

婦さんやお中の赤ぼりなども、とてつとた

くさんの方が被害をうけています。

戦争がこのまま続くとして日本にも影響が出ま

す。その影響としては、日本の価値が下りし

てしまうこと加す。

私は早く戦争がとまるとほしいと思います。

ます。

私は戦争をなくすために出来ることは、こ

れがらの人生を大切にしたい。今の幸せをかみし

めながら生きていくことかと私は思うので、

そうして私は、私からの人生をまもるべきとし

ながら生きていていこうと思えます。

ぼくは、新聞記者のお方にお話をしていた  
だきました。主にロシア、ウクライナ戦争に  
ついて学びました。  
自分も過去に新聞で始めて知ったことをあ  
りました。

新聞だと過去のことも知れるのび自分は、  
便利だと思えます。

新聞には、いろいろな情報があるのびこいませ  
た。たとえば、政治、亡くなった方、世界、事件  
などたくさん情報があります。

新聞は、一番伝えたいことを一番目に入る  
表紙などにあります。

新聞のすごいところは、信ら性がある  
からです。

新聞記者の人の話を聞いてわかったら、新聞

のすごいと思えました。

すごく勉強になりました。

私は新聞記者の話しを聞いて、わかっていたことがあります。1つ目は、戦争です。今、ウクライナとロシアが戦争していることをくわしくおしえていた。だきました。2つ目は、戦争のことをおしえていた。だきました。世界をくうために自分は何をしたらいいか、などをおしえていた。だきました。自分がもし、戦争にまきこまれば、またなまごあが来めて思いました。もし、ごんか今、戦争にかかぬることがあると思います。そのときは、自分のことも大事だけれど、相手のことも、想って、たあけて、けたらなと思いました。

私は、正直「他人ごと」だと思っ  
ていた。「ウクライナ対ロシアの戦争」  
でも、今日からは変わった。いつも、  
ニュースなどではこの戦争について  
見ていたが「痛そう。大へんやな  
あー」ぐらいにしか思っ  
ていなかった。でも、今日  
は話し合いや考えることができたし、  
ニュースよりもこの戦争の写  
真などでくわしく知ることが  
できた。特に、悲しくなっ  
たのは「お父さんが子供を  
だいてにげている写真」と「  
にんぷさんが運ばれている写  
真」だ。この2つの写真と曲を  
聞くと、本当に泣きそうにな  
った。この学習を通して、「  
ウクライナ対ロシアの戦争は、  
ただごとじゃないんだ。今でも、  
苦しんでいる人がいるんだ。  
早く終わらせてあげたいな」  
と深く「他人ごと」から「何か  
力になれることはないのか」  
などの「助けをあげたい」と  
いう気持ちになった。

次に、私の「ウクライナ対ロシアの戦争を



終わらすためにできること」の考えた。日本  
 は「平和主義」をかかげていて、それは戦争  
 を体験した人がとてもしんどかったからだと思  
 う。特に「広島」と「長崎」は「原爆」と  
 いう兵器でひ害を受け、心に傷が残った人も  
 いると思う。そんな日本だからこそ、何かで  
 きるはずだ。  
 「ウクライナが日本のようになってほしくな  
 い。ロシアを止めたい。何かできることはな  
 いか。この日本の経験を生かして……」  
 私は考えた。その結果、  
 「あ!! 戦争体験者さんのしんどかったころの  
 話の動画を一つ一つ、ウクライナ語やロシア  
 語のじまくをつけて、ウクライナやロシアの  
 人に公開させたらしいんじゃないかな」  
 自分たちができることではないけど、これが  
 良いかもと思った。  
 この学習を通して、「新聞のつくりや効果  
 や「ウクライナ対ロシアについて」、「戦争  
 について」など色々なことを知れた。特に心

3に残ったことは、「新聞は人権を大切にしていて、こ

に残ったことは、「新聞は人権を大切にしている」といって「戦争はやっぱり人を傷つけるから良くない」ということだ。自分で、戦争について・新聞を作る上で大切にしていることなど予想しながら考えられたので考え方を改められたので戦争についても考え方が変わった。戦争について、これからも考えていきたい。

私は、六時間目の新聞の授業でウクライナとロシアの戦争や過去にあつた戦争がこれからも起こらないようにすることを色々考えました。それはそれぞれ二つずつあります。一つ目は、戦争で亡くなつた人の家族、子どもたち、友達、たくさん関わつている人たち、ちの気持ちを考えてのことです。戦争をしてい

る人は、楽しんでやつていたり、相手の国の人たちの気持ちも考えないで戦争をしているんだと思います。だから戦争をしたら子どもたちは亡くなつた人を見てこわくなつたり、嫌な光景が頭の中にかんて悲しんでしまひます。家族はずつと悲しいし、命はもどらないから、ずつと命がもどつてほしいと願うばかりです。なので気持ちを考えてほしいです。二つ目は、戦争をしないというのを法律で決めることです。この法律をすれば世界の

人に知つてもらえて、戦争をやめてくれるはずです。だからこの取り組みをしてほしいです。

最後に私は、戦争や新聞についてたくさん  
学びました。だから、自分の意見を世界に届  
けてみんなが戦争をしないようにしてほしい  
し、後ウクライナとロシアの戦争も早く終わ  
ってほしいです。これからも戦争が起こらな  
いことを私はいつまでも願っておくようにし  
ます。だから戦争がないように精一杯できる  
ことをやろうと思います。たくさん新聞のこ  
とや戦争のことなど教えてくださり、ありが  
とうございました。これからも新聞を見る習  
慣をつけられるようにがんばります。新聞作り  
がんばってください。

私たちにぐねしく戦争のことを教えただ  
 さってありがとうございました。  
 一時間授業を受けて今、ウクライナとロシ  
 アがどのような状況なのか、新聞を制作する  
 にあたるとのことなどか分かりました。  
 スライドの編集もすごく見やすく音楽も  
 あつとより内容が頭に入りました。  
 私はウクライナとロシアの戦争でロシアを  
 責めることもプーチン大統領を責めることも  
 しない方がよいなど思いました。理由はプー  
 チン大統領やロシアを責めても戦争がなくな  
 らないと思ふからです。それにプーチン大統  
 領やロシアを責めてもし戦争がなくなると  
 してもそれは本当の平和ではないと思ふが分  
 ちです。  
 たまたまプーチン大統領が戦争といえ選択  
 を選んで道をまちがえているのならばみんな  
 を責めるんじゃないかと止めてあげることが大  
 切なんじゃないかなと思います。自分にで  
 きる事は少ないけど自分の意見を少しづつで

も周りに伝えたいことと田心いきました。

今、ロシアとウクライナが戦争をしている  
 のは、世界中の人たちが知っているだろう。  
 また、それを世界が問題視しているのも事実  
 だ。  
 今、そんなロシアに、アメリカや日本など  
 の経済大國が制裁を与えている。輸出や、輸  
 入の制限などだ。しかし、そういっただものは  
 本当に効果があるのだろうか。ぼくは無理と  
 思う。実際、そんなことをして、戦争が終わ  
 るというのでもない。ロシアがそんなこと  
 とで戦争で敗北宣言をするとは思えない。  
 では、ここで視点を変えてみよう。ロシア  
 に制裁を与えるのではなく、ウクライナを支  
 援するのだ。確かに支援している国もあるが  
 あまりにも少ないのではないか。かといっ  
 て、ぼくたちも国の機関の人ではない。何  
 をするべきなんだろうか。その考えが二つあ  
 る。  
 まずは、一つ目だ。それは、募金の呼びかけ  
 だ。インターネットで、今のウクライナの状

況も伝へ、募金をたのみのた。

次に、二つ目の考えた。それは、少しでも  
多くの人に、戦争のことを知ってもらうのだ。  
そうすれば、ひとひとと広がっていくはずだ。  
この戦争はロシアから、仕かけたもので  
ウクライナは何も悪くない。そのことを理解  
して、今言ったこと以外のことも考え、自分  
たちで行動するべきである。



この授業をうけて戦争はぜったいにあつてはならないことだし、やっではいけないことだと感じました。新聞の記事を見ると、ウクライナとロシアの記事が何本もあつて戦争でこんなにも取り上げるんだなと思ひました。授業を聞いて日本にもえいきようがあることがわかりました。経済とか食品とかそついつのにかかわつてくるんだなと思ひました。授業のほかにもいつもニュースでやつていて毎日流れるのはすごいなと思ひました。ニュースを見て思つたことはロシアはなんでこんなことをするのだらうと思つたり、この戦争は何のために行つてゐるのか思つたりしました。こんなにも多くの人がギヤクさつされたり、家をこわされたり、兄弟や家族も亡くなつてこんなことが毎日起きてゐると考えたらとてもおそろしいです。プーチン大統領はこんなことをして何がいいのとか、こんなにも多くの人が死んでゐるのに何とも思わぬいのなど思ひました。ロシアの中にも反対し

ている人がいるかもしれないし、ロシア国内でウソの情報を流されてるのがとてもいいなど感じました。

私たちにこの戦争で何ができるのかと考えるてみて私はこんなことをしても何もないけど戦争が早く終わるようになると願ったらいいかないと思います。

私は、毎日ロシアとウクライナについて  
ニュースを必ず見ます。ロシアとウクライナ  
では今、戦争がおこっています。  
その中で私達が日々続けて出来ることを考  
えてみました。私の頭から出てきたことは沢  
山あります。まずは、だいたいの人が毎日続  
けられることです。それは募金です。一日に  
少しだけで良いから募金をしてその募金が集  
まったら戦争をできるだけ早く終わらせる役  
に立てるからです。次にできることは、適  
切な情報入手するということです。テレビ  
、インターネットで毎日のようにウクライナ  
やロシアの情勢について情報が流れているけ  
どその中には、SNSを使ったフェイク画像  
やフェイク動画、ロシアを非難する過激な発  
言も多く出回っているのが現状で、視覚的な  
情報は特にインパクトがあって信じやすいけ  
ど、本当にこれは真実なのかーといつた視  
点を常に持ったうえで情報収集することが大  
切だと思っただけです。その他にも私達が出

来ることにはありますがこの2つが特に大切だと私は思いました。

新聞記者さんが来りロシアとウクライナの戦争について話してくれて分かったことがたくさんあります。その中で一番記憶に残ったいる事はこの戦争には私達が住んでいる日本も関っているという事です。初めはびっくりしたけど、関っているかもしれないも私達ができらる事を行っていきたいと思いました。

私は、新聞の授業でロシアとウクライナのことや、新聞についてのことを学びました。最初は、ロシアとウクライナはとおい国だから、日本にも私にも全く関係のないことなんだと思います。こんでいきましたが、新聞にのっていることの説明をきいてみると、食料や資源などがたりなくなったり、木がたりなくなったり、日本にも関係があることが分かりました。ウクライナは、ロシアに攻撃されて何万人も人が亡くなっていることも分かりました。何も悪くない人たちがこわい思いや、悲しい思いをしているのは本当になしくなっています。私にも、少しでも戦争をとめるためにできることはあると思います。たとえば、募金をするとか、まちがった情報をしんじたり、発信したりしないなど、あまり意味はないかもしれないけど、気持ちが大切だと思います。なんの理由があっても、武器を使ったりする

のは、だめだと思いました。

新聞は、楽しい記事もあつたのでいいなと思いましたが。かなしい記事ばかりじゃなくて、うれしい記事もあることで読むのが楽しくなつてくると思います。

新聞の説明の授業は、とても楽しかったです。分かりやすかったです。ウクライナとロシアの事も知れたし、ジョン・レノンの曲についてや、世界の歴史などたくさんあつてとてもいい時間になりました。一泊移住の新聞をかく時に役立つのでとても勉強になつてよかったです。

ぼくは、ウクライナ、ロツアのせんそうの  
 しんぶんをみました。そのしんぶんを見てげ  
 くは、いまウクライナの国は、こんなことに  
 なっているんだな、~~な~~と思いました。  
 ぼくがウクライナの国にいたら、もうなく  
 なっているかもしれませぬ。  
 せんそうがおわるためにいぶんがでるこ  
 とは、ろくに一回ぼくもしきんします。  
 そして、ぼくは、ウクライナにでるこ  
 とをせんがします。  
 しかもしんぶんを見たとき、ウクライナは、  
 かわいそうだなと思いました。  
 だからぼくもでるだけ、ろくに一回なので  
 100円ぼくもします。  
 ウクライナもウクライナであるいこともあ  
 るけれど、ロツアもロツアであるいこともあ  
 ります。  
 だからぼくは、せんそうをしてもただそのせ  
 んそうするとかいっていな、いんか、なくなっ  
 ていくのは、いけません。

だからせんそふは、がめましやう。



ぼくは知らなかったことを多くこの授業で  
 学びました。新聞での授業で最初は何をやる  
 のかと思いました。たがウクライナとロシアでの  
 戦争、や中の関係、ほかにも戦争に关して  
 の歌や絵やそのほかの感想を伝えていきたく  
 と思います。

まずぼくは世界はなぜこんなに戦争がある  
 のか知りませんがその一つはロシアとウクラ  
 イナです。新聞の話していちばんぼくの耳に  
 入ったのはその言葉でした。ぼくは話しを聞  
 きながら新聞を見るとゾーラなど写真など  
 がありました。ほんとはぼくは悲しい気持ち  
 になりました。次に関係です。あきらかに  
 悪いというところかわかりますがいつか戦いか  
 終わるといっています。次に歌です。ゲーリー  
 ブルックナー氏の作品、青い影、ヤジミンシ  
 ンの作品、イメージなど感動的な歌でした。  
 最後に戦争をけでなく新聞は信らうできるも  
 のでSNSなどのものなどのニュースなどあ  
 まり信らうべきでないこともわかりました。

ぼくは、世界にいろんなことがあるのを知り生活の中で生かしていきたいと思えます。